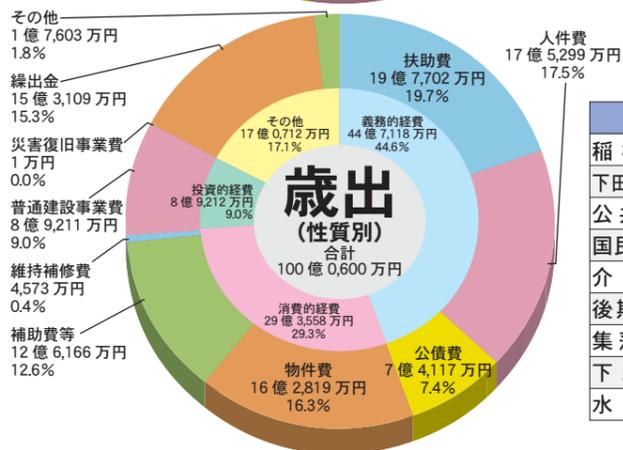
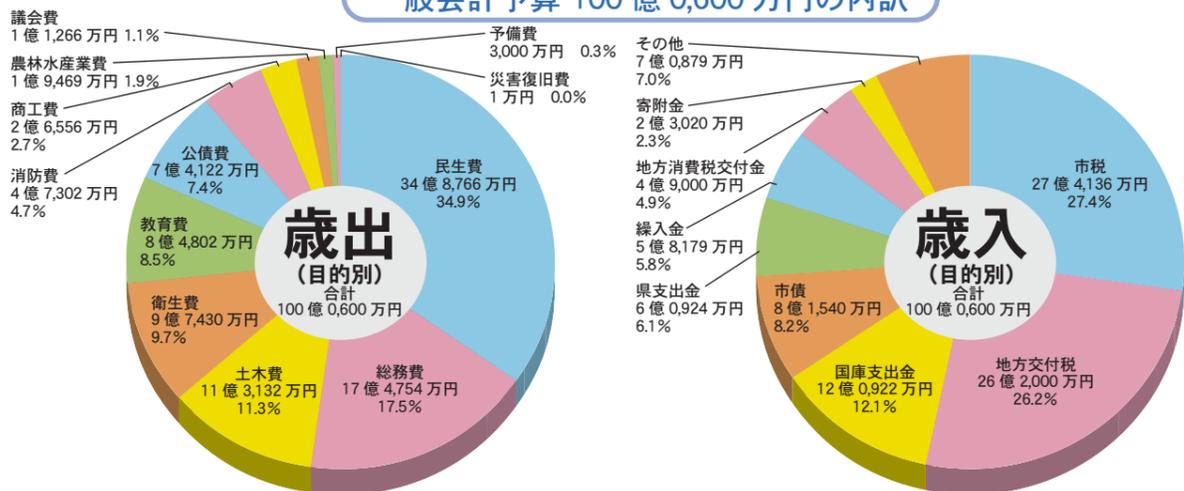


# 平成30年度 予算概要

当初予算規模は、一般会計及び全特別会計等を合わせて、185億0,272万円で、前年度に比べ(△)4億6,200万円、(△)2.4%の減となり、各会計間の重複額を除いた純計額では、172億7,707万6千円で、前年度に比べ(△)3億7,118万5千円、(△)2.1%の減となりました。一般会計は100億0,600万円で、前年度に比べ3億9,200万円、4.1%の増となりました。一般会計の歳入(性質別)につきましては、自主財源が41億3,962万6千円で歳入全体の41.4%を占め、前年度に比べ1億2,137万9千円の増となり、依存財源は58億6,637万4千円で歳入全体の58.6%を占め、前年度に比べ2億7,062万1千円の増となりました。

## 一般会計予算 100億0,600万円の内訳



## 特別会計及び事業会計当初予算

会計名	予算額	対前年度増減額	増減率
稲梓財産区特別会計	180万円	10万円減	5.3%減
下田駅前広場整備事業特別会計	790万円	60万円増	8.2%増
公共用地取得特別会計	302万円	0	0%
国民健康保険事業特別会計	31億4,500万円	7億0,500万円減	18.3%減
介護保険特別会計	26億3,300万円	7,500万円減	2.8%減
後期高齢者医療特別会計	3億7,300万円	3,200万円増	9.4%増
集落排水事業特別会計	6,190万円	2,040万円増	49.2%増
下水道事業特別会計	10億7,300万円	6,300万円減	5.5%減
水道事業会計	11億9,810万円	6,390万円減	5.1%減

## 平成30年度当初予算(都市計画税充当額一覽)

都市計画税充当事業区分	事業費	都市計画税充当額	充当割合
都市計画事業	6,527万円	2,387万円	100.0%
公園事業	230万円	230万円	100.0%
下水道事業(繰出金)	3,425万円	955万6千円	27.9%
その他	4億2,719万3千円	1億2,247万4千円	27.9%
都市計画税充当事業計	5億2,901万3千円	1億5,820万円	32.5%

## 平成30年度当初予算(地方消費税交付金充当額一覽)

地方消費税交付金(社会保険財源分)充当事業区分	事業費	地方消費税交付金(社会保険財源分)充当額	充当割合
社会福祉	16億7,631万4千円	7,762万4千円	15.4%
社会保険	8億6,432万5千円	1億928万9千円	15.4%
保健衛生	1億2,445万円	1,485万2千円	15.4%
地方消費税交付金充当事業計	26億6,508万9千円	2億176万5千円	15.4%

## ～歳入の主な増減の要因～

- 市債は、新庁舎建設事業、耐震性貯水槽整備事業及び過疎対策事業債等により、8億1,540万円と見込み、前年度に比べ2億9,880万円、57.8%の増と見込みました。
- 諸収入は、学校(小学校・中学校)の給食費公会計に伴う給食費等の増により、1億7,778万3千円と見込み、前年度に比べ8,384万8千円、89.3%の増と見込みました。
- 国庫支出金は、臨時福祉給付金の終了、国民健康保険制度の広域化による保険基盤安定負担金(国民健康保険分)の減額等により、12億0,922万7千円と見込み、前年度に比べ(△)6,987万2千円、(△)5.5%の減と見込みました。

## ～歳出の主な増減の要因(性質別)～

- 普通建設事業は、Wi-Fi施設設置工事、光ファイバ網整備事業補助金や耐震性貯水槽整備工事(浜崎小学校)等の増により、前年度と比べ3億7,597万9千円、72.8%の増。
- 物件費は、学校給食公会計化による賄材料費、市営住宅解体、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種委託等の増により、前年度に比べ9,561万3千円、6.2%の増。
- 扶助費は、臨時福祉給付金等の減により、前年度に比べ(△)7,504万1千円、(△)3.7%の減。

## ②産業振興策

オリーブのまちづくり事業、美しい里山づくり事業の推進とともに、美味しいまちづくりプロジェクトによる下田ブランドの認証事業、住宅リフォーム振興助成金、アワビやマダイ等の稚貝、稚魚の放流事業、漁船団誘致対策事業等への助成を継続してまいります。

さらに、伊豆漁業協同組合の卸売市場等の整備計画構築に向けて、「道の駅開国下田みなど」との一体的な活用について検討してまいります。

## ③経済活性化

市内で増加している空き施設や空き店舗等を活用した企業誘致、起業支援に取組むため、今後のまちづくりの核となる人材養成と組織づくりを目指す「シモダ大学(仮称)」を創設し、企業誘致の受け入れ体制を整備いたします。

また、ポケットパークの整備、休憩広場の設計、駐車場

利用状況調査など、周遊ルート的美装化に向けた施策を遂行する所存であります。

また、まどが浜海遊公園から下田市街地までのエリアを「みなとまちゾーン」と位置づけ、交流と賑わいの拠点とするための整備の具体策の実現化に向け尽力をしていきます。

## 防災対策事業

市民の生命と財産を守り、安心安全のまちとするため、ハード・ソフト両面の危機管理能力の向上を図り、盤石な防災体制の確立を目指します。

## ①ハード事業

飲料水兼用耐震性貯水槽及び非常用トイレ(貯留槽)の設置、津波避難対策として、敷根避難路の整備及び避難誘導標識の設置、消防力の強化として、消防団のポンプ自動車及び小型ポンプ積載車の更新を推進してまいります。

公共施設に関しては、昨年に引き続き、ゆのもと橋の補強工事を行うとともに、宮渡戸橋の架替の事業を推進します。

下水道に関して、優先対策路線に埋設された管渠施設の耐震補強工事を進めてまいります。

## ②ソフト事業

自主防災組織の充実を図るため、資機材及び備蓄品を配備するとともに、防災訓練や防災教育の充実を推進してまいります。

## 広域連携

○賀茂地域広域連携会議  
今年度から糖尿病等重症化予防事業の共同実施を開始し、介護保険及び保健事業の体制強化を図ってまいります。

3年目となる賀茂地方税債権整理回収協議会と共同し、県より徴収統括監を迎え、更なる市税の効果的な徴収事務に取り組んでまいります。

活動実績を上げています。広域消費生活センターと地籍調査事業に関しましては、引き続き事業を継続してまいります。

## ○広域連携事業

伊豆縦貫自動車道に関しては、早期開通に向けて事業が推進されるよう、要望活動等、関係機関との連携及び事業協力に、積極的に取り組んでまいります。

## その他重点事業

### ○教育振興

小学校学習指導要領の改訂により、将来的には地元で起業することができるよう、高度な思考力・技術力を身につけることができるよう、中学生を対象として最先端のプログラミング教育のテスト導入を実施してまいります。

中学校においては、パソコン教室の機器更新、小学校においては、屋内運動場改修工事、防火扉・シャッターに対し改修工事を実施し、より良い教育環境の確保に取り組んでまいります。

学校給食の公会計化を実施し、公平性と透明性の向上、教職員の多忙化を解消するよう努めてまいります。

### ○姉妹都市交流・国際交流

本年はニューポルト市と姉妹都市の提携60年の節目を迎えることから、さらなる友好関係の発展のために記念事業を記念誌の発行等の記念事業を実施いたします。また、新たにロシア連邦との交流事業に取り組んでまいります。

### ○図書館の整備

「下田市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りつつ、施設、サービス、運営のあり方等について、協議しながら検討を進めてまいります。

### ○事務・事業の効率化

平成31年度の導入を目指し、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスの開始準備、下水道事業公営企業会計の準備作業を進めてまいります。

公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画においては、平成31年度中期までに計画を策定し、配置の適正化及び計画的な維持管理を図るよう進めてまいります。

以上、平成30年度の所信の一端を申し上げましたが、市政を司るにあたり、「虚心担懐」「公論傾聴」「先見洞察」「熟慮断行」を座右の銘とし、諸課題を着実に解決するよう市役所職員、一丸となって邁進する所存でありますので、市民の皆さま並びに議員各位の市政に対する深甚なるご理解と絶大なご協力をお願いするものでございます。